

# サミット益田大会

## 3 難攻不落の七尾城!

ほら見て、山のとっぺんが平らになっているよ。



とがっていると不便だから削って平らにしているんだよ。この平らにした部分を曲輪(くるわ)と言うんだ。

えっ!? どうやって平らにしたの? さっきの木もそうだけど、今みたいに機械なんか無い時代だよな?



たくさんの人が一生懸命に木を伐ったり地面を削ったりしたんだ。山の姿を変えてしまうほどの土木工事が行われたんだよ。

想像もつかないし、やれと言われてもぼくには無理だよ～



そう考えてみると、すごいよね。イラストの七尾城は、右側が北で左側が南なんだけど、北から南まで600メートルくらいあるんだよ!



ほかにも、尾根や斜面を削った切岸(きりぎし)や堀切(ほりきり)、山の上から下に縦に掘られた豎堀(たてぼり)で守りを固めていたんだ!

## 4 実際に登って想像してみよう!

よく見ると、七尾城っておもしろい形だね! アルファベットのYみたい!



そうだね、Y字状をしているね。今の七尾城には西側にある住吉神社の方から登るけど、もともとは北側の益田川の方が正面だったんだよ。



北側に開いている2つの尾根の間を登ろうとすると、両側の尾根から弓矢を射られたり石を投げられたり、さらに鉄砲で撃たれたりしたんだ。

お城を守るために、簡単には登れないようにしていたんだね。



そうだね。今から450年くらい前の戦いが多い時代のお城だからね。



実際に登ってみて、山の中に今も残っている切岸や堀切、豎堀に注目してみると、その場所でどう守ろうとしていたのかが見えてくるよ!

平らになっている山の上には何があったのかな?



七尾城は山の上に庭付きの立派な御殿があったみたいだよ。たくさんの人が暮らしていて、宴会も開かれていたようだよ。

そうなんだ! どんな眺めだったのかな? 想像したらわくわくしてきたよ!



## 七尾城跡を空から見よう!

七尾城跡とその城下を上空からドローンで撮影した動画を、益田市公式 YouTube チャンネルで公開しています!



ぜひ見てね!

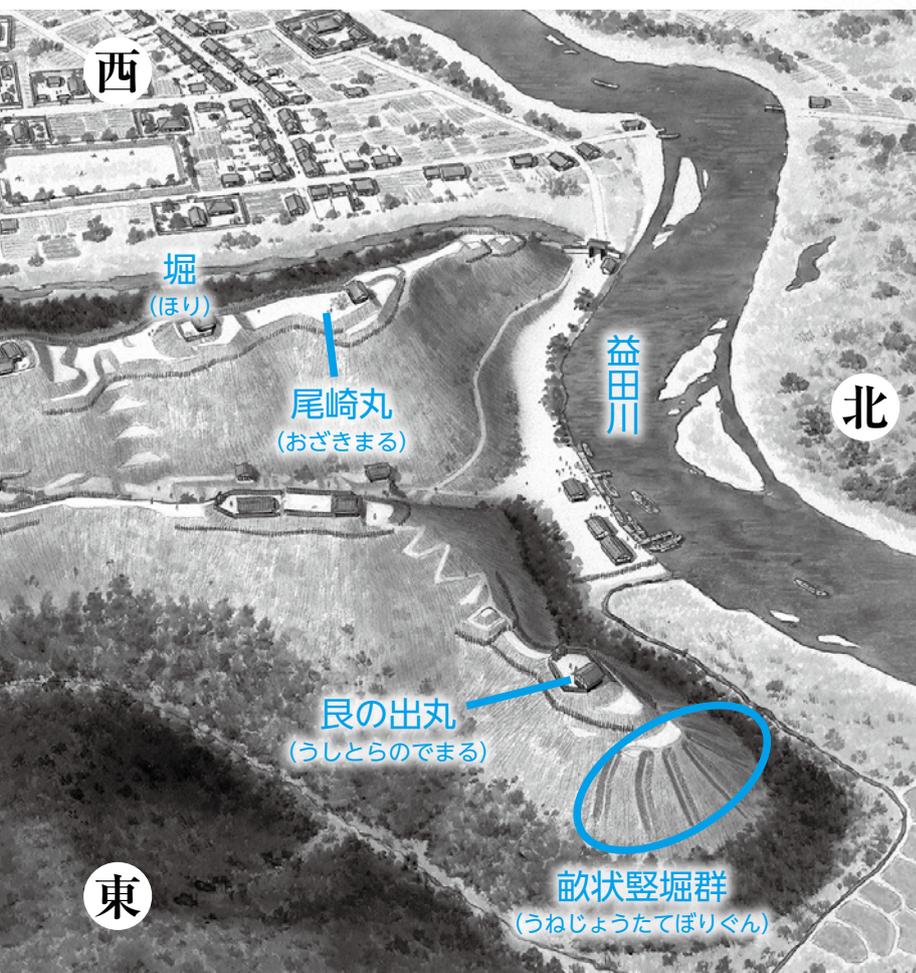


益田市公式 YouTube チャンネル  
「日本遺産関連」

※ 4 ページ 益田の山城探訪(最終回)「七尾城跡」もあわせてご覧ください!

【問い合わせ先】

市文化振興課 ☎ 31-0623





## 益田を代表する山城「七尾城」を知って、山城サミットをもっと楽しもう！

11月16日(土)・17日(日)の2日間、全国の山城ファンが集う一大イベント「第31回全国山城サミット益田大会」が開催されます。16日(土)は島根県芸術文化センター「グラントワ」で七尾城の魅力を深掘りするシンポジウム、17日(日)は七尾城とその城下であった益田地区で「中世益田ビッグフェスタ」が開催されます。

本号の特集では、山城サミットをもっと楽しむために、益田を代表する山城「七尾城」について紹介します！

### 1 益田を代表する山城「七尾城」！

いよいよ今月、益田で「全国山城サミット」が開催されるね！



「やまじろさみっと」？それ何？  
そもそも、益田にお城があったの？



そうだよ！益田にはお城があったんだ！  
「全国山城サミット」は、全国の山城がある市町村などが年に1回集まってみんなで交流するイベントだよ。



益田にお城が！？すごーい！  
どこにあったの？天守閣は？石垣は？



市内にはたくさんの山城があったんだよ。中でも、七尾城は益田を治めた益田氏の居城だったんだ。でも、お城といっても天守閣や石垣はないんだ。



え〜、そうなんだ…天守閣も石垣もなくてお城なの？



お城のイメージといえばそうかもしれないね。でも、山城もとっても魅力的なんだよ。



### 七尾城跡

中世益田の領主益田氏の居城。益田川左岸の標高118mの丘陵上に位置する。大小30余りの曲輪が延長600mの尾根上に展開する、戦国大名級の山城。

医光寺の前にある立派な門は、もともとは七尾城の正門(大手門)だったといわれているよ！



医光寺総門

(島根県指定文化財)

七尾城の大手門が移築されたものといわれている。

### 2 七尾城ってどんな城？



よーし、じゃあ、さっそく益田を代表する山城「七尾城」を紹介しよう。  
下のイラストを見てごらん！

山みたいに見えるけど、あまり木が生えてないね〜



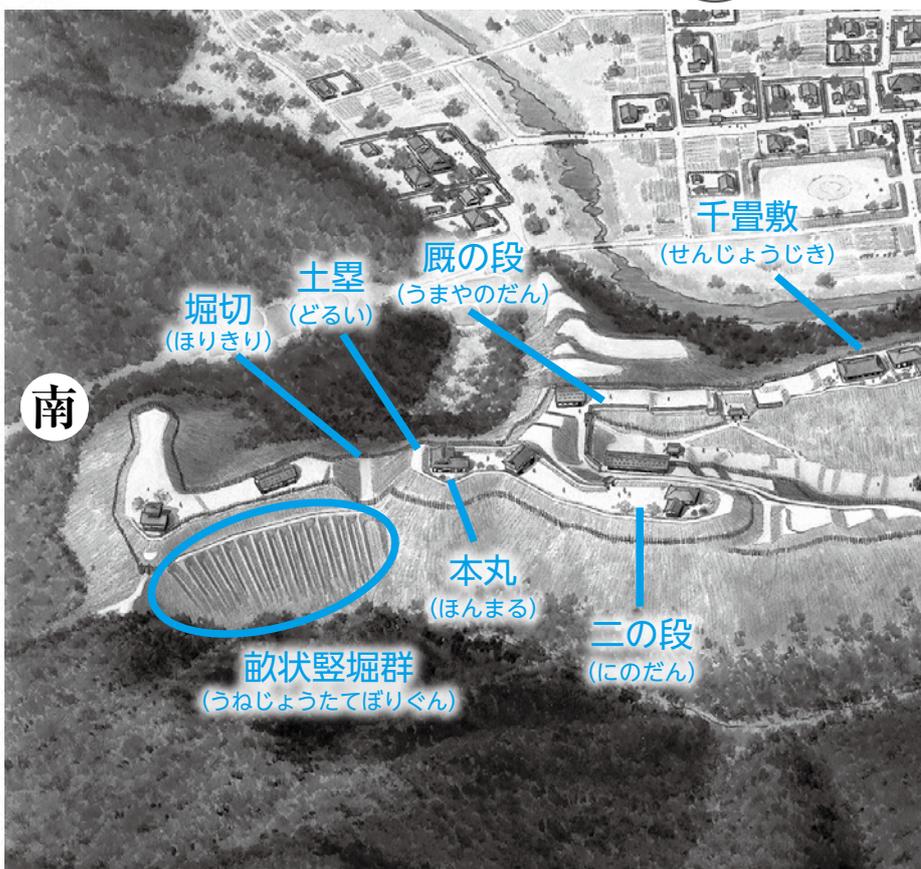
これは七尾城の昔の姿を想像して描いたイラストだよ！山城では木を伐りはらって見晴らしを良くしているんだ。

この見晴らしの良さには理由があるんだよね？



遠くまで見渡せるようにするため、下から登ってくる敵にいち早く気づくため、さらに、登ってくる敵を攻撃するときに敵が身を隠す場所をなくすためだよ！

ひゃー！戦うためのお城だったんだ！



七尾城想像図(部分。イラスト：香川元太郎氏)

11/16 土

# シンポジウム

七尾城と城下の  
魅力を深掘り！

日時 11月16日(土) 13:00~16:30 (受付開始 12:00 ~)  
会場 島根県芸術文化センター「グラントワ」大ホール

手話通訳  
要約筆記あり

※事前申込の受付は終了しました。

## プログラム

### 1. 基調講演「七尾城の特徴」

講師：千田 嘉博 さん

### 2. 対談「七尾城の魅力を語ろう！」

千田 嘉博 さん・石原 良純 さん

### 3. パネルディスカッション

#### 「中世益田城下の魅力を語ろう！」

コーディネーター：千田 嘉博 さん

パネリスト：萩原 さちこ さん

岩井 賢朗 さん (益田「中世の食」再現プロジェクト代表)

中司 健一 (市歴史文化研究センター主任)

主催：益田市、益田の歴史文化を活かした観光拠点づくり実行委員会、一般財団法人自治総合センター

後援：総務省、島根県、島根県教育委員会



お城博士  
テレビでおなじみの

千田 嘉博 さん  
(城郭考古学者)



芸能界屈指の  
お城マニア

石原 良純 さん  
(俳優・気象予報士)



踏破！  
全国約2千城を

萩原 さちこ さん  
(城郭ライター)

グラントワ駐車場には限りがあります。公共交通機関または乗り合わせのうえお越しください。当日は、県益田合同庁舎、益田市役所、市立市民学習センターの駐車場も利用できます。また、県益田合同庁舎とグラントワ間で、無料のシャトル便を運行しますのでご利用ください。  
グラントワ行 11:30 ~ 13:00 / 県益田合同庁舎行 シンポジウム終了後1時間程度

【問い合わせ先】  
市文化振興課 ☎ 31-0623

## 全国山城サミット 開催記念連載「益田の山城探訪」(全8回)

### 最終回 七尾城跡 (ななおじょうあと)

【問い合わせ先】  
市文化振興課 ☎ 31-0623

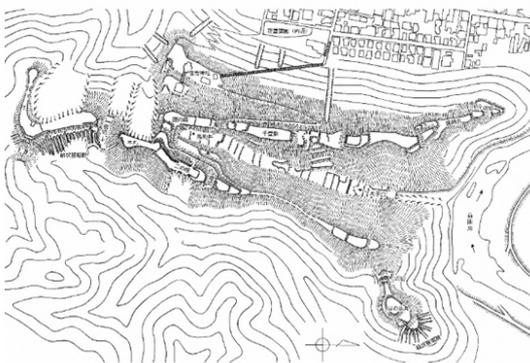
七尾城は、中世の約400年間にわたり益田を治めた領主益田氏の居城です。

標高118mの七尾山は、北の益田川に向かって2つの尾根が伸び、その結節点から南に伸びる尾根とあわせてYの字のような形状をしています。尾根上に30余りの曲輪が設けられ、本丸はY字の結節点にあります。現在は西側の住吉神社の参道から登りますが、本来の大手(正面)は益田川に面した北側と考えられています。大手から登る場合、2つの尾根の間を登ると傾斜が緩くて楽ですが、正面と側面にあたる2つの尾根の曲輪からの攻撃にさらされます。2つの尾根を先に攻略しようとする、急斜面を駆け上がる必要があります。

本丸南側の曲輪の東側や北東方向の出丸(通称・良の出丸)のあたりが城の弱点と考えられたのか、畝状堅堀群が設けられています。特に、本丸南側の曲輪の東側に設けられた16の連続する堅堀は圧巻です。

七尾城がいつ頃築かれたかは諸説ありますが、延元元(1336)年に南朝方に攻撃された古文書に見える「益田城」がその初見と考えられます。

また、この古文書に「北尾崎木戸」が打ち破られたと書かれ



七尾城跡縄張図 (寺井毅氏作成)

ていることから、この頃の七尾城は、現在は尾崎丸と呼ばれている北西方向に伸びる尾根の先端のあたりだけであったと考えられています。その頃の益田のまちは、益田川の北側の染羽地域が栄えていたと考えられており、七尾城は染羽地域を見渡せる形になっていました。

その後、七尾城は次第に城域を拡大したと考えられ、戦国時代の終わり頃には山全体を要塞化するに至りました。

戦国時代の益田藤兼の晩年の様子(元禄)を伝える古文書からは、子の元祥に家督を譲った藤兼が一期、七尾城に居住していたであろうこと、11人の一族・重臣が七尾城に駐在していたことがわかり、100人以上が七尾城に居住していたと推測されます。

記念特別イベント

# 中世益田ビッグフェスタ

## 11/17日

### 全国各地の山城ブースが集結する山城、歴史好きにはたまらない一日！

日時 11月17日(日) 10:00~16:00  
会場 市立歴史文化交流館「れきしーな」、三宅御土居跡／三宅おどい広場、七尾城跡 ほか



全国各地の山城ブースの出展をはじめ、岩国藩鉄砲隊による演武や地元グルメブース出店、ステージでの芸能披露、日本遺産の構成文化財での体験コンテンツなど、楽しいイベントが目白押し！そのほか、豪華賞品が当たる！？デジタルスタンプラリーも同時開催！ぜひ、各会場を巡ってお楽しみください！

### 市立歴史文化交流館「れきしーな」会場

オープニングセレモニーでは、岩国藩鉄砲隊による演武が行われます。また、山城サミット加盟自治体など30を超える山城・歴史関連ブースが出展します。そのほか、11月に刊行される益田氏を題材にした歴史小説「護国の書(仮)」の作家・森山光太郎氏と担当編集者・塩澤氏による講演会を開催します。



### 三宅御土居跡／三宅おどい広場会場

益田の歴代のお殿様たちが生活していた三宅おどい広場を会場に、「第6回おどいの宴」とコラボ開催します。飲食や体験ブースなど約30のブースが出店し、ステージイベントには、石見神楽や安来節、剣道演武をはじめ、演劇「三宅おどい物語」の上演などさまざまな団体が出演します。



## 各会場を巡ってポイントをゲット！日本遺産周遊デジタルスタンプラリー開催！

### 七尾城跡会場

ビッグフェスタの開幕にあわせて山頂から狼煙をあげます。七尾城跡駐車場スペースでは、スポーツチャンバラ体験や弓矢射の体験、ブース出展があります。そのほか、山頂への道中でスポットガイドを行います。この機会に益田市内を一望できる山頂まで登ってみませんか？



※イメージ

### 萬福寺会場

雪舟庭園鑑賞 & お茶席体験  
お茶席：表千家  
迎え花：末生流  
箏 曲：正派雅会せせらぎ  
當道益田福寿会



### 妙義寺会場

「サムライ御膳」の美食(要予約)や永見住職による坐禅体験、中世の食・歴食関連ブース出展、魂刀流石見剣楽会による剣舞パフォーマンスなど



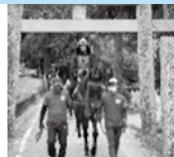
### 医光寺会場

雪舟焼窯元での陶芸体験(要予約)、雪舟庭園鑑賞、ラリーポイントがもらえる十三重の塔早積みチャレンジなど



### 染羽天石勝神社会場

なりきり益田氏「甲冑乗馬」甲冑を着て馬に乗り、気分はまるで益田氏！



※予約が必要な体験コンテンツは、定員に達し次第、受付を終了します。

※イベント当日に、市立歴史文化交流館「れきしーな」会場で料金をお支払い後に体験チケットをお渡しします。

※スマートフォンでの予約ができない場合は、観光交流課まで問い合わせください。

### 日本遺産周遊デジタルスタンプラリーとは

各会場に設置された二次元コードや体験コンテンツチケットの二次元コードを読み取ることでポイントを獲得できます。獲得ポイントに応じて、豪華賞品が当たる抽選に応募できます。

★スタンプラリーや各体験コンテンツの詳細、参加予約はこちらから市ホームページ「中世益田ビッグフェスタ」▶



### 一 駐車場のお知らせ 一

県益田合同庁舎の駐車場が利用できます。「れきしーな」までは無料のシャトル便を運行しますのでご利用ください。

【問い合わせ先】市観光交流課 ☎ 31-0331